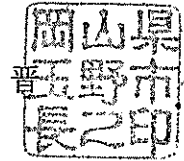




玉都第24号
平成19年4月17日

国土交通省道路局長 殿

岡山県玉野市長 黒田



中期的な計画の作成に当たっての意見の提出について（回答）

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

標記の件につきまして、次のとおり回答いたしますのでよろしくお取り計らい願います。

記

本市は古くから四国への玄関口としての役割を担ってきた経緯もあり、道路網については早い時期から整備が進められており、道路網は比較的充足していると考えております。また、国道30号につきましてはご尽力をいただき平成17年度には4車線化が完成し、利便性が向上したところであります。

しかしながら、国道30号以外の道路につきましては整備から相当の期間が経過しており、これらの道路については、老朽化はもちろんのこと社会環境や自動車事情等の変化から、整備当時は十分と考えられていた道路幅員、歩行者保護の観点からの歩道の規模等、全体的な規格が現状に合わなくなっております。

また、西日本は地震の活動期に入ったといわれており、近く発生が予想されている東南海・南海地震に代表される地震に対する耐震等の対策についても、老朽化も手伝って深刻な課題であると認識しております。

これらの課題はともに人命に係わるものであり、本市においては新規路線の整備よりこれらの課題解決を重点的に進める必要があると考えており、これらの課題が解決されるよう優先的な取り組みをお願いいたします。

そして、地域の課題・実情に応じたきめ細かい対応を機動的に行うためには、地域の課題は地方の裁量で解決できる仕組みを整備すべきであり、このことが効率化を進める上でも重要であると考えております。